

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	改善（カイゼン）推進事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	情報政策・改革改善課			
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	内 安広			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市職員	意図	トップダウンの行財政改革だけではなく、ボトムアップによる職員一人ひとりの改善（カイゼン）を推進することで、持続的な行政組織をつくる。
事業内容	①職員が全庁に共通する改善提案を実現する「職員提案制度」 ②各課における「カイゼン行動報告」の取りまとめ ③改善に関する情報をまとめた庁内報「カイゼン通心」 ④「整理整頓コンテスト」の実施			
事業開始から現在までの状況変化	主として、平成28年3月に策定した「行財政改革・改善プラン」により、事業を進めている。①については、平成28年度より提案受付を通年型にし、利用しやすい制度とした。②と③については平成28年度より取りまとめを開始し、良事例の横展開を図っている。④については職場カイゼンの一環として、平成29年度より開催している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）			
	①	職員提案件数	10	10	16	件	↑↑↑	職員提案制度により職員から提出された提案の件数		
②	職員提案採用件数	4	6	5	件	↑↑↑	職員提案制度により審査され、採用に至った提案の件数			
③	カイゼン行動報告の件数		63	52	件	↑↑↑	各課からのカイゼン行動報告の合計件数（平成28年度開始）			
④										
⑤										
⑥										
指標で表すことができない定性的な成果	整理整頓コンテストの実施により、職場カイゼンの推進及び職員の意識改革につながった。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ①職員提案制度については、件数が増加したが、採用に至った割合は少なかった。 ②カイゼン行動報告については、件数としては10件減少したが、テーマ設定等の工夫により、業務改善の割合が増加した。 ③カイゼン通信については、レイアウトを刷新したほか、各課の取組みをリレー形式で連載する「カイゼンリレー」をスタートした。 ④新たに「整理整頓コンテスト」を実施した。審査員ではなく職員による投票制にすることで、幅広く職員の参加を促した。（最優秀賞：マーケティ			
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度							
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,129,500	2,059,500	2,013,600							
事業費(b)(円)	 平成27年度 平成28年度 平成29年度 1,129,500 2,059,500 2,013,600 									
うち一般財源										
職員給与費(c)(円)										
人役・職員(人)								0.15	0.30	0.30
人役・再任用(人)										
人役・臨職(人)										
人役・嘱託(人)										
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）										
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）										

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	・「カイゼン」の意識を着実に浸透させていく。	③取組の課題	・職員提案制度について、特に審査のプロセスに効率化の余地がある。 ・カイゼン行動報告の件数に伸び悩みが生じている。
②今年度(H29)に実施した取組	・「カイゼン通心」の内容や、カイゼン行動報告の仕組みについてカイゼンを図った。 ・新たに「整理整頓コンテスト」を企画・開催した。	④今後(H30以降)の改善計画	・職員提案制度の見直しを図り、より円滑な審査が進むようにする。 ・改善運動に関する他市事例を研究し、より機能する仕組みにする。